



都城東から世界へ！ To the world from Miyakonojo Higashi

～日本の未来をささえ、グローバルな舞台で活躍できる『人材』を育成します～

本校が推進している『グローバル教育』を、海外での語学研修を経験した生徒や活躍中の English Teacher の感想や気持ちを通して伝えていくページです。

語学研修 Language training クローズアップ

『フィリピン語学研修を通じて』

自動車工業科 2年生 加藤 颯一郎くん(小松原中出身)

3ヶ月間のフィリピン語学研修は僕にとって、英語への興味をより一層湧かせてくれました。フィリピンでの英語は、日本の授業とは違って、生活の中で自然に身に付いていくものでした。当初は、何も話すことができず、相手が何を言っているのかさえ理解できませんでした。しかし、毎日の生活の中で英語を使っていくうちに、コミュニケーションが取れるようになり、英語を覚えることが楽しくなってきました。英語を話す中で、発音の難しさがあり、悔しい思いをしたことがありましたが、この経験は、より一層英語を学びたいという気持ちにさせてくれました。またこの語学研修は、英語を学ぶ以外に、自分たちだけで生活していかなければなりません。自立しなければならぬと同時に、寮では集団生活なので、周りに気を配り生活することを経験し、今までの日本での生活がとても恵まれていることに気づくことができました。3ヶ月の期間を異国で過ごす機会を与えてくれた両親に感謝し、この経験を将来に活かせるように、しっかりと過ごしていきたいと思います。



Kickoff: A Journey to JaFUN

Visiting our dreamland is fun; visiting it to practice our chosen profession makes it more fun. Two months ago, we, who happened to have a wanderlust to visit Japan, are luckily chosen as the fifth wave of Student Teachers to teach English at Miyakonojo East High School. With undeniable excitement and great passion to live the legacy of St. La Salle to teach minds, touch hearts, and transform lives, we accepted the challenge though we have little inhibitions on staying three months long on a foreign land. By the time we set foot to what we call as the Land of the Rising Sun, inhibitions were forgotten as we felt very much delighted for the days to come and what these days have in store for us. While we were riding in the bus heading to our dormitories, we were pretty much amazed by the oxymoronic scenery we saw, where technology and nature seem to work in harmony. In addition, we can't help but feel stunned with how clean the roads are and how

discipline the people are. We didn't see any trace of garbage and we didn't see any jaywalkers nor did we feel any trace of reckless driving. Day after we arrived, we were introduced to the members of the faculty, making us feel not just mere coworkers but members of the family. We were then toured to different classrooms and were asked to introduce our selves. Warm are the students' welcome as they attentively listen to our short introductions and speeches. Class observations followed for the rest of the week, where we assess the students that we have and the type of learners that they are, and we then developed teaching strategies and techniques we think will work on them. We spent our weekend exploring as much of Miyakonojo as we could. We walked and made worthwhile stops at a good number of stores and shops. Some of us were even fortunate to have bought economical good finds; from garments, to food and even phones. Our fun experience

will never be complete without food. "Oishi" is an understatement in defining Japanese food for eating it feels like eating the food of the gods. This is because Japanese food are meticulously made and is cooked with art and love. These are but just a beginning of our fun experiences and we look forward to more worthwhile moments ahead. We hope to learn from the students just as they learn from us as we impart to them the learnings that we had from our humble university. We also hope that students as well as the teachers will join us as we journey towards JaFUN.



世界で活躍する若者を育てます To the world from Miyakonojo Higashi

デュアル教育

職業教育による本物の人材育成

グローバル教育

グローバル化に対応出来る人材育成

儒教道徳教育

日本人としての基本的人格の育成

学校法人豊栄学園 都城東高等学校 〒889-1996 北諸県郡三股町大字樺山 1996 番地
TEL: 0986-52-1010 FAX: 0986-52-1011 E-mail: mh-hs-so@btvm.ne.jp
都城東高等学校広報誌 第11号 発行日: 2015年6月 発行: 学校法人豊栄学園都城東高等学校

学校の最新情報はウェブサイト (<http://miyako-higashi.ac.jp/>) でチェックできます。



「一流シェフプロジェクト」 上原 雄三 先生 調理実習

六月十七日(火)に、フランスでミシュラン三ツ星レストランのシェフを経験し、みまたふるさと大使でもある上原雄三先生の調理実習が行われました。本校のデュアル教育の一環として始まった「一流プロジェクト」は、一流の技術を知ることと本物を目指し、世界に通用する職業人を育成することを目的としています。第一回目は、フランス料理の基本でもあるオムレツや、サーモンを使った料理などを学びました。なかでもオムレツのお手本披露では、その鮮やかな技術に生徒から感嘆の声が上がりました。



上原先生は実習の中で自身の経験を元に「あいさつ」の大切さや、「継続」することの大切さをジョークを交えながら指導していました。時折、生徒達から笑いが起こるなど、とても好印象でした。実習後も「楽しかった、とても勉強になった」との声も聞こえ、今後の展開に期待が膨らみます。



“For the students who will accomplish with faithfulness”



元株式会社エイチ・アイ・エス 取締役
ビッグ・フィールド・マネージメント株式会社代表取締役

大野 尚氏講演

「負けない自分を作れば 未来は創れる」



5月20日(水)に、元(株)エイチ・アイ・エス取締役で現ビッグ・フィールド・マネージメント(株)の代表取締役である大野尚氏を招いて今年度最初の講演会が行われました。生徒や保護者、地域の皆様を対象にした講演会では、自身が海外を渡り歩いた際に学んだ事や、エイチ・アイ・エスの立ち上げメンバーとして培った考え方などをお話いただきました。

講演の中で氏は「普段、私達が思う“良い”は”すごく良い”であり、それは少し違う。一気に階段を上ることは出来ない」と述べ、「小さな“良い”を少しずつ積み重ねることで、やがて“すごく良い”になる。1日1日を GREAT ではなく GOOD で頑張ってください」そして、目の前の問題に対して「今あるものを利用するのではなく、活かす事を考えてください」と力説されました。負けない心を作り、未来を創りだすための心構えに、生徒や参加者は真剣に耳を傾けていました。



大野尚氏講演を聞いての感想文 ～印象強く残った言葉～

普通科3年生女子

私がこの講演を聞き、一番印象に残った言葉は「天才は少ないけれど、小さな努力を積み重ねていって、大変なことから逃げなければいい」という言葉です。私は、大変なことがあると、楽な方に逃げたくなるからです。だから、今日の先生の話聞いて、成功している人は、ひらめきや才能だけでなく、周りよりも何倍も努力をしているんだということを改めて実感しました。

“For the students who will accomplish with faithfulness”

English Teacher from University of St. La Salle, Philippines

フィリピンティーチャー 第5陣が来日しました。

5月19日(火)にフィリピンのセント・ラ・サル大学から第5陣目の先生方が来日しました。これから3ヶ月間、本校で活躍頂きます。

English Teacher

先生の紹介と都城東での目標 滞在期間 平成27年5月19日(火) - 平成27年8月8日(土)

Pauline Andrea Dinsay
生徒が英語に興味を持てる環境を提供することで、生徒の意欲を高めたいです。

ブリン先生

趣味：読書・インターネット・テレビ鑑賞
専攻：特別支援

Rabbi Bon Villarosa
英語で何かを発表できるような場を作り、英語は一部の国の言葉だけではないと伝えたい。

ラバイ先生

趣味：読書・歌を歌う事・テレビ
専攻：英語

Seanna Jean V. Jacildo
三か月が終わるころには生徒が簡単なコミュニケーションがとれるよう、楽しく分かりやすく英語を教えたい。

シェナ先生

趣味：友人と遊ぶ・映画鑑賞
専攻：特別支援

Ella Junsay
私がこれまで身に付けてきた技術を楽しく生徒に教えたいです。

エラ先生

趣味：歌を歌う事・映画鑑賞
専攻：初等教育

Shiloh Marie M. Saison
英語の知識を生徒達に伝えるのと同時に、お互いに有効な関係を築きたいです。

シャイロ先生

趣味：読書・インターネット
専攻：初等教育

Marlon Leonard B. Miñoza II
日本の文化を学びながら、学校や生徒にフィリピンの文化を伝えたいです。

マーロン先生

趣味：プラモデル等・空手・読書
専攻：特別支援

Stela Marie S. Aboc
様々なアクティビティを通して生徒の英語への意欲へつなげていきたいです。

ステラ先生

趣味：読書・インターネット・工作
専攻：初等教育

Kevin Dela Cruz Tambien
自分の知識や経験を生かし、積極的に協力しながら生徒達と接していきたいです。

ケヴィン先生

趣味：サッカー・読書
専攻：社会

Ma. Patricia Anne L. Ungui
英語を学ぶ大切さを教えたい、そして先生方や生徒達と良好な関係を築いていきたいです。

パトリア先生

趣味：読書・インターネット・音楽
専攻：初等教育

Bethel Vargas Yating
先生と生徒という繋がりだけでなく、国を超えても続く友好関係を築いていきたい。

バゼル先生

趣味：読書・音楽鑑賞・料理
専攻：英語

“For the students who will accomplish with faithfulness”